

証券コード 3096

令和7年6月10日

(電子提供措置開始日 令和7年6月5日)

株 主 各 位

新潟県三条市西本成寺二丁目26番57号

株式会社オーシャンシステム

代表取締役社長 樋 口 勝 人

第47回定時株主総会招集ご通知

拝啓 日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社第47回定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご通知申し上げます。

本総会の招集に際しては、株主総会参考書類等の内容である情報（電子提供措置事項）について電子提供措置をとっており、インターネット上に掲載しております。掲載ウェブサイトにて、ご確認くださいませようお願い申し上げます。

当日ご出席いただけない場合は、郵送（書面）又はインターネットによって、議決権を行使いただくことができますので、令和7年6月25日（水曜日）午後5時00分までに議決権を行使賜りますようお願い申し上げます。

敬 具

記

- | | |
|-------------------------|---|
| 1. 日 時 | 令和7年6月26日（木曜日）午前10時
（午前9時より受付開始。お土産はございません。） |
| 2. 場 所 | 新潟県燕市井土巻三丁目65番地
燕三条ワシントンホテル（3階ホール）
（末尾の会場ご案内図をご参照ください。） |
| 3. 目的事項
報告事項 | 1. 第47期（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）
事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人及び監査役会
の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第47期（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）
計算書類報告の件 |
| 決議事項 | |
| 第1号議案 | 取締役9名選任の件 |
| 第2号議案 | 退任取締役に対する退職慰労金贈呈の件 |

電子提供措置事項の掲載場所

【当社ウェブサイト】

<https://www.ocean-system.com/invest/soukai/>



なお、電子提供措置事項は、次の各ウェブサイトにも掲載しております。

【株主総会資料 掲載ウェブサイト】

<https://d.sokai.jp/3096/teiji/>



【東京証券取引所ウェブサイト（東証上場会社情報サービス）】

<https://www2.jpx.co.jp/tseHpFront/JJK010010Action.do?Show=Show>

（「銘柄名（会社名）」に「オーシャンシステム」、又は「コード」に当社証券コード「3096」を入力・検索し、「基本情報」「縦覧書類/PR情報」を順に選択して、「縦覧書類」の「株主総会招集通知/株主総会資料」欄よりご確認ください。）



議決権行使についてのご案内

1. 当日ご出席いただけない場合の株主総会における議決権は、次の2つの方法により、行使いただくことができます。

(1) 郵送（書面）にて議決権を行使いただく場合

○同封の議決権行使書に賛否をご記入いただき、同封の記載面保護シールをご利用のうえご投函ください。

【行使期限：令和7年6月25日（水曜日）午後5時00分到着分まで】

(2) インターネットにて議決権を行使いただく場合

① 「スマート行使」による方法

・同封の議決権行使書に記載のQRコードをスマートフォン等にて読み取りのうえ、当社指定の「スマート行使」ウェブサイトへアクセスいただき、画面の案内に従って賛否をご入力ください。

・議決権行使コード（ID）及びパスワードのご入力是不要です。

・「スマート行使」による議決権行使は1回に限らせていただきます。修正される場合は、②の方法により再度行使いただく必要があります。

② 「議決権行使コード（ID）」「パスワード」入力による方法

・議決権行使ウェブサイト（<https://soukai.mizuho-tb.co.jp/>）にアクセスいただき、同封の議決権行使書の裏面に記載の議決権行使コード（ID）及びパスワードにてログインいただき、画面の案内に従って賛否をご入力ください。なお、パスワードは初回ログインの際に変更していただく必要があります。

・議決権行使コード（ID）及びパスワード（株主様が変更されたものを含みます。）は株主総会の都度、新たに発行します。

【行使期限：令和7年6月25日（水曜日）午後5時00分入力分まで】

2. パスワードのお取り扱いについて

- (1) パスワードは、議決権を行使される方が株主様ご本人であることを確認する重要な情報です。印鑑や暗証番号同様、大切にお取り扱いください。なお、パスワードを当社又は株主名簿管理人よりお尋ねすることはございません。
- (2) パスワードは一定回数以上お間違えになりますと使用できなくなります。再発行をご希望の場合は、画面の案内に従ってお手続きください。
- (3) 議決権行使書に記載されている議決権行使コード（ID）は、本定時株主総会に限り有効です。

3. 議決権の行使につきましては、次の事項を予めご承知おきください。

- (1) 郵送（書面）により議決権を行使された場合の議決権行使書において、議案に対する賛否の表示がない場合には、賛成の表示があったものとしてお取り扱いします。
- (2) 郵送（書面）とインターネットにより重複して議決権を行使された場合は、インターネットによるものを有効な議決権行使としてお取り扱いします。
- (3) インターネットより複数回、議決権を行使された場合は、最後に行われたものを有効な議決権行使としてお取り扱いします。
- (4) 議決権行使専用のウェブサイトをご利用いただく際のプロバイダ及び通信事業者の料金（接続料等）は、株主様のご負担となります。

4. お問い合わせ先について

ご不明な点は、株主名簿管理人である **みずほ信託銀行 証券代行部** までお問い合わせください。

フリーダイヤル **0120-768-524**（年末年始を除く 9:00～21:00）

以 上

~~~~~  
当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。

なお、電子提供措置事項に修正が生じた場合には、修正した旨、修正前の事項及び修正後の事項を前頁の「電子提供措置事項の掲載場所」に掲載させていただきます。

# 事業報告

(令和6年4月1日から  
令和7年3月31日まで)

## 1. 企業集団の現況に関する事項

### (1) 事業の経過及び成果

当連結会計年度（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）におけるわが国の経済は、一部で足踏みが残るものの、雇用・所得環境の改善により景気は緩やかな回復の動きが見られました。しかしながら、米国政府の関税引き上げによる米中貿易摩擦の激化などの海外景気の減速がわが国の経済を下押しするリスクになっており、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが事業を展開する食品小売業界におきましても、原材料をはじめ光熱費や物流費、人手不足に伴う人件費など様々な価格上昇の影響を受けております。加えて、主食である米や生活必需品、日用品の価格上昇により消費者の節約志向は依然として根強く、経営環境は引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、社会環境の変化や働き方の多様化、環境問題の深刻化やテクノロジーの進展などの課題に対して、令和9年3月期を最終年度とする3カ年の中期経営計画に取り組んでおります。また、お客様に提供する商品やサービスの向上と、業務の効率化及びデジタル化への取り組みを強化することにより企業価値の向上に努めてまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は910億61百万円（前期比6.0%増）、営業利益は17億52百万円（前期比8.7%減）、経常利益は18億47百万円（前期比8.6%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は、主に食材宅配事業及び弁当給食事業において現在の事業環境を踏まえ投資額の回収可能性を判断した結果、該当する固定資産について減損損失2億88百万円を特別損失に計上したことにより、10億49百万円（前期比21.5%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

### (スーパーマーケット事業)

スーパーマーケット事業につきましては、物価上昇により節約志向の高まりが続く中、当社の強みである非生鮮部門については、試食販売を行い更なる認知度の向上を図るとともに、販売促進企画として季節や時流のイベントを開催するなどの来店頻度向上に努めてまいりました。また、米価格高騰の影響により、弁当と丼の組み合わせでよりお安くご購入いただける「弁当・どんぶりよりどりセール」が好評となったほか、月間特売や時間帯別に特売を行うことで売上高の増加と販売機会ロスの削減にも努めました。

以上の結果、当連結会計年度のセグメント売上高は272億65百万円（前期比1.6%増）、給与水準の引き上げに伴う人件費の増加によりセグメント利益は7億86百万円（前期比13.6%減）となりました。

#### （業務スーパー事業）

業務スーパー事業につきましては、年間を通じて多くのメディアやSNSで取り上げられたことに加え、フランチャイザーによる業務スーパー誕生25周年を記念した「ニコニコセール」が開催され、来店客数、客単価ともに堅調に推移しました。また、子会社である(株)カワサキでは20店舗全店で自動発注システムを導入し生産性の向上を図りました。

店舗展開としましては、令和7年3月に「業務スーパー取手藤代店」（茨城県取手市）をオープンいたしました。また、移転リニューアルした3店舗を含め、当社グループの当期末の直営店舗数は78店舗となりました。

以上の結果、当連結会計年度のセグメント売上高は484億65百万円（前期比8.7%増）、セグメント利益は17億26百万円（前期比12.8%増）となりました。

#### （弁当給食事業）

事業所向け宅配弁当につきましては、品質・味・見栄えなどの向上を図ることで魅力あるお弁当作りへの取り組みを続けておりますが、中食との競合や喫食者ニーズの多様化により販売食数は伸び悩みました。また、利益面では、一昨年から価格改定による利益率の改善を進めてまいりましたが、原材料価格やエネルギー価格の高騰により、利益率は前連結会計年度を下回りました。

惣菜等の受託製造につきましても、受注商品数は堅調に増加しましたが、米を中心とした原材料価格高騰の影響により粗利益率は低下しました。

以上の結果、当連結会計年度のセグメント売上高は99億45百万円（前期比7.8%増）、セグメント利益は1億99百万円（前期比42.0%減）となりました。

#### （食材宅配事業）

福祉施設などへ食材販売を行う「ヨシケイキッチン」につきましては、管理栄養士が監修したメニューで調理時間が大幅に短縮できる利便性が評価され、受託施設数は堅調に推移しました。また、主力の一般家庭向け食材セット「すまいるごはん」では、折り込み広告の活用や新規顧客開拓を専門とした夕食アドバイザーによる営業活動を強化したことにより販売セット数は増加しました。しかしながら、原材料価格の上昇と子会社合併による経費の増加によりセグメント利益は減少しました。

以上の結果、当連結会計年度のセグメント売上高は49億6百万円（前期比2.0%増）、セグメント損失は86百万円（前期はセグメント損失59百万円）となりました。

（旅館、その他事業）

旅館につきましては、大手旅行会社からの送客による昼食利用と宿泊者数は増加したものの、宿泊利用については個人客が多く、定員稼働率は低調に推移しました。

その他事業の「焼肉黒真」につきましては、平日の営業時間拡大や昼限定の焼肉ランチの提供、アルコール類の飲み放題といった施策に取り組みましたが売上高は前年を下回りました。

以上の結果、当連結会計年度のセグメント売上高は4億79百万円（前期比14.5%増）、セグメント損失は1億11百万円（前期はセグメント損失1億1百万円）となりました。

事業セグメント別売上高

| 事業区分        | 第46期       | 第47期       | 前連結会計年度比 |         |
|-------------|------------|------------|----------|---------|
|             | 令和6年3月期    | 令和7年3月期    | 金額       | 増減率     |
| スーパーマーケット事業 | 26,846 百万円 | 27,265 百万円 | 418 百万円  | 101.6 % |
| 業務スーパー事業    | 44,599     | 48,465     | 3,865    | 108.7   |
| 弁当給食事業      | 9,225      | 9,945      | 719      | 107.8   |
| 食材宅配事業      | 4,809      | 4,906      | 97       | 102.0   |
| 旅館、その他事業    | 418        | 479        | 60       | 114.5   |
| 合計          | 85,899     | 91,061     | 5,162    | 106.0   |

(2) 設備投資の状況

当連結会計年度中の設備投資の総額は12億46百万円であり、その主なものは次のとおりであります。

| セグメント名   | 設備の内容 | 事業所名                |
|----------|-------|---------------------|
| 業務スーパー事業 | 店舗の新設 | 当社、業務スーパー取手藤代店      |
|          | 店舗の移転 | 当社、業務スーパー米沢金池店      |
|          |       | 当社、業務スーパー酒田若竹店      |
|          |       | (株)カワサキ、業務スーパー水戸赤塚店 |

(3) 資金調達の状況  
該当事項はありません。

(4) 重要な企業再編等の状況  
該当事項はありません。

(5) 財産及び損益の状況

① 企業集団の財産及び損益の状況

| 区 分                      | 第44期<br>令和4年3月期 | 第45期<br>令和5年3月期 | 第46期<br>令和6年3月期 | 第47期<br>(当連結会計年度)<br>令和7年3月期 |
|--------------------------|-----------------|-----------------|-----------------|------------------------------|
| 売上高(百万円)                 | 72,700          | 77,710          | 85,899          | 91,061                       |
| 経常利益(百万円)                | 1,515           | 1,238           | 2,022           | 1,847                        |
| 親会社株主に帰属<br>する当期純利益(百万円) | 798             | 358             | 1,337           | 1,049                        |
| 1株当たり当期純利益(円)            | 84.83           | 38.05           | 142.06          | 111.51                       |
| 総資産(百万円)                 | 21,377          | 22,016          | 23,648          | 24,082                       |
| 純資産(百万円)                 | 8,852           | 9,073           | 10,356          | 11,204                       |
| 1株当たり純資産(円)              | 940.39          | 963.84          | 1,100.18        | 1,190.25                     |

(注) 1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式数により、1株当たり純資産は、期末発行済株式総数により算出しております。

② 当社の財産及び損益の状況

| 区 分            | 第44期<br>令和4年3月期 | 第45期<br>令和5年3月期 | 第46期<br>令和6年3月期 | 第47期<br>(当事業年度)<br>令和7年3月期 |
|----------------|-----------------|-----------------|-----------------|----------------------------|
| 売 上 高(百万円)     | 64,022          | 67,600          | 74,333          | 78,576                     |
| 経 常 利 益(百万円)   | 1,266           | 1,014           | 1,699           | 1,466                      |
| 当 期 純 利 益(百万円) | 678             | 218             | 1,089           | 856                        |
| 1株当たり当期純利益(円)  | 72.12           | 23.26           | 115.75          | 90.94                      |
| 総 資 産(百万円)     | 19,617          | 20,115          | 21,406          | 21,842                     |
| 純 資 産(百万円)     | 8,070           | 8,147           | 9,111           | 9,759                      |
| 1株当たり純資産(円)    | 857.33          | 865.52          | 967.89          | 1,036.77                   |

(注) 1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式数により、1株当たり純資産は、期末発行済株式総数により算出しております。

(6) 重要な親会社及び子会社の状況

① 親会社の状況

該当事項はありません。

② 重要な子会社の状況

| 会 社 名           | 資 本 金 | 当社の議決権比率 | 主要な事業内容                           |
|-----------------|-------|----------|-----------------------------------|
| (株)サンキューオールジャパン | 20百万円 | 100%     | 「フレッシュランチ39」のFC展開                 |
| (株)フーディー        | 10百万円 | 100%     | 「フレッシュランチ39」等ブランドによる企業宅配弁当の製造及び販売 |
| (株)カワサキ         | 30百万円 | 100%     | 「業務スーパー」の店舗展開                     |

(注) 令和6年4月1日付で、当社の連結子会社である(株)ヨシケイ両毛を吸収合併しております。

## 2. 会社役員に関する事項

### (1) 取締役及び監査役の状況（令和7年3月31日現在）

| 会社における地位 | 氏 名       | 担当及び重要な兼職の状況                                                                      |
|----------|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 代表取締役社長  | 樋 口 勝 人   |                                                                                   |
| 取締役会長    | 樋 口 勤     | (株)サンキューオールジャパン代表取締役社長                                                            |
| 常務取締役    | 小 野 純 平   | (株)カワサキ代表取締役社長                                                                    |
| 取締役      | 杉 田 仁 史   | 執行役員営業企画室長<br>(株)サンキューオールジャパン専務取締役<br>(株)フーディー取締役                                 |
| 取締役      | 長 谷 川 吉 浩 | 執行役員ODX推進本部長                                                                      |
| 取締役      | 本 間 武 士   | 執行役員管理本部長<br>(株)カワサキ取締役<br>(株)フーディー監査役                                            |
| 取締役      | 長 井 守     | (株)フーディー取締役                                                                       |
| 取締役      | 齋 藤 吉 弘   | あおば社労士事務所所長<br>(株)あおば中央人事労務代表取締役<br>合同会社あおばインベストメント代表社員<br>一般社団法人新潟障害年金相談センター代表理事 |
| 取締役      | 平 哲 也     | 平哲也法律事務所所長                                                                        |
| 常勤監査役    | 山 田 秀 樹   | (株)サンキューオールジャパン監査役<br>(株)カワサキ監査役                                                  |
| 監査役      | 捧 俊 雄     | 捧公認会計士事務所代表<br>捧俊雄税理士事務所代表<br>(株)あさひ会計社代表取締役                                      |
| 監査役      | 逸 見 和 宏   | 逸見和宏公認会計士事務所代表<br>税理士法人逸見会計代表社員<br>新潟信用金庫員外監事                                     |

(注) 1. 令和7年3月14日付の取締役会決議により、令和7年4月1日付で取締役の地位・担当を次のとおり変更しております。

- ・杉田仁史氏は取締役兼執行役員営業企画室長から取締役に就任いたしました。
- 2. 令和7年5月13日付の(株)カワサキの株主総会決議等により、同日付で取締役の重要な兼職について、次のとおり変更しております。
  - ・樋口勝人氏は(株)カワサキの取締役及び代表取締役に就任いたしました。
  - ・小野純平氏は(株)カワサキの取締役及び代表取締役に辞任いたしました。
- 3. 取締役齋藤吉弘氏及び平哲也氏は、社外取締役であります。
- 4. 取締役齋藤吉弘氏は、社会保険労務士の資格を有しており、社会保険及び労務に関する相当程度の知見を有しております。
- 5. 取締役平哲也氏は、弁護士の資格を有しており、法務及びコンプライアンスに関して相当程度の知見を有しております。
- 6. 監査役捧俊雄氏及び逸見和宏氏は、社外監査役であります。
- 7. 監査役捧俊雄氏及び逸見和宏氏は、公認会計士の資格を有しており、財務及び会計に関する相当程度の知見を有しております。

8. 当社は取締役齋藤吉弘氏及び平哲也氏ならびに監査役俵俊雄氏及び逸見和宏氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。
9. 当社と各社外取締役及び各社外監査役は、会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。  
当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、同法第425条第1項に定める最低責任限度額としております。
10. 当社は保険会社との間で会社法第430条の3第1項の役員等賠償責任保険契約を次の概要で締結しています。
  - ①被保険者の範囲  
当社及び子会社の役員、執行役員、管理職従業員、社外派遣役員及び退任役員
  - ②保険契約の内容の概要  
被保険者がその職務の執行に起因して損害賠償請求がなされたことにより、被保険者が被る損害賠償金や訴訟費用等を補填します。ただし、犯罪行為や法令違反の行為であることを認識して行った行為に起因する場合等を補填対象外とすることにより、役員等の職務の執行の適法性が損なわれないように措置を講じております。なお、保険料の1割を役員が均等割りし負担しております。
11. 当社は令和7年4月1日付で㈱フーディーを吸収合併しております。

## (2) 取締役及び監査役の報酬等の額

### ① 取締役及び監査役の個人別の報酬等の内容に係る決定方針に関する事項

当社は、取締役及び監査役の個人別の報酬等の内容に係る決定方針を定めており、その概要は以下のとおりです。

#### イ. 基本方針

当社取締役の報酬は、株主総会で決議された報酬限度額の範囲内で、当社の業績内容、個々の業績や企業価値向上への貢献度、他社水準等を総合的に勘案して年間報酬額を決定します。

具体的には、基本報酬（固定報酬）及び業績連動報酬により構成します。ただし、非常勤取締役及び社外取締役につきましては職責を考慮し、業績連動報酬は支給しないものとします。

#### ロ. 基本報酬の個人別の額の決定に関する方針

基本報酬は金銭報酬とし、取締役ごとに職位を勘案して決定します。

#### ハ. 業績連動報酬の内容及び額の算定方法の決定に関する方針

業績連動報酬は金銭報酬とし、事業年度ごとの業績向上に対する意識を高めるために経常利益を反映するものとします。

具体的には、各事業年度の連結経常利益に応じて社内で定めた基準により算出した額で決定します。当事業年度における業績連動報酬に係る連結経常利益は2,022,153千円です。

#### ニ. 個人別の基本報酬と業績連動報酬の割合の決定に関する方針

取締役の種類別の報酬割合については、当社と同規模企業の水準を参考にして決定します。

なお、当面は、基本報酬（固定報酬）：業績連動報酬＝2：1を目安とします。

ホ．個人別の年間報酬額の決定に関する方針

個人別の年間報酬額は、個々の前年度の業績や企業価値向上への貢献度を代表取締役が評価し、社外取締役の助言を受けたうえで報酬案を作成し、取締役会で決定します。

なお、退職慰労金につきましては、支給することが株主総会で決議された後に、内規に従って算定した金額、支給方法等を取締役会で決議して決定します。

ヘ．監査役の個人別の報酬等の内容に係る事項

当社監査役の報酬は金銭報酬とし、その個人別の年間報酬額は、個々の職責や職務遂行状況及び会社の業績等を勘案し、監査役の協議により決定します。

ト．取締役の個人別の内容に係る決定方針の決定方法

代表取締役が社外取締役の助言を受けたうえで、方針案を作成し、令和3年2月12日開催の取締役会において決定方針を決議しました。

② 取締役及び監査役の報酬等についての株主総会の決議に関する事項

取締役の報酬限度額は、平成18年6月16日開催の第28回定時株主総会において、年額360,000千円以内と決議いただいております。当該株主総会終結時点の取締役の員数は、11名（うち、社外取締役3名）です。

監査役の報酬限度額は、平成18年6月16日開催の第28回定時株主総会において、年額60,000千円以内と決議いただいております。当該株主総会終結時点の監査役の員数は、3名（うち、社外監査役2名）です。

③ 取締役の個人別の報酬等の内容の決定に係る委任に関する事項

該当事項はありません。

④ 当事業年度に係る取締役の個人別の報酬等の内容が決定方針に沿うものであると判断した理由

当事業年度の取締役の個人別の報酬等の額は、当社の業績内容、個々の業績や企業価値向上への貢献度、他社水準等を総合的に勘案して取締役会で決定しており、上記方針に照らしても特段の問題はないと判断しております。

⑤ 当事業年度に係る報酬等の総額等

| 区 分              | 報酬等の総額<br>(千円)     | 報酬等の種類別の総額 (千円)    |               |          | 対象となる<br>役員の員数 |
|------------------|--------------------|--------------------|---------------|----------|----------------|
|                  |                    | 基本報酬               | 業績連動報酬等       | 非金銭報酬等   |                |
| 取締役<br>(うち社外取締役) | 166,150<br>(4,800) | 131,200<br>(4,800) | 34,950<br>(－) | －<br>(－) | 10名<br>(2名)    |
| 監査役<br>(うち社外監査役) | 19,961<br>(4,800)  | 19,961<br>(4,800)  | －<br>(－)      | －<br>(－) | 4名<br>(2名)     |
| 合 計<br>(うち社外役員)  | 186,111<br>(9,600) | 151,161<br>(9,600) | 34,950<br>(－) | －<br>(－) | 14名<br>(4名)    |

(注) 1. 支給額には、以下のものが含まれております。

- ・当事業年度における役員退職慰労引当金の繰入額21,900千円（取締役9名に対し20,500千円(うち社外取締役2名に対し400千円)、監査役3名に対し1,400千円(うち社外監査役2名に対し400千円)）
- ・役員賞与（令和7年3月）7,200千円（取締役9名に対し6,600千円、監査役3名に対し600千円）

2. 上記には、令和6年6月27日開催の第46回定時株主総会終結の時をもって退任した監査役1名を含んでおります。

⑥ 当事業年度に支払った役員退職慰労金

令和6年6月27日開催の第46回定時株主総会決議に基づき、同総会終結の時をもって退任した監査役に支払った役員退職慰労金は以下のとおりであります。

監査役 1名 3,900千円

(上記金額には、過年度の事業報告において、役員の報酬等の総額等に含めた役員退職慰労引当金の繰入額、監査役分3,700千円が含まれております。)

(3) 社外役員に関する事項

① 他の法人等の重要な兼職の状況及び当社と当該他の法人等との関係

| 地 位 | 氏 名     | 兼職する法人等            | 兼職の内容 |
|-----|---------|--------------------|-------|
| 取締役 | 齋 藤 吉 弘 | あおば社労士事務所          | 所長    |
|     |         | (株)あおば中央人事労務       | 代表取締役 |
|     |         | 合同会社あおばインベストメント    | 代表社員  |
|     |         | 一般社団法人新潟障害年金相談センター | 代表理事  |
| 取締役 | 平 哲 也   | 平哲也法律事務所           | 所長    |
| 監査役 | 捧 俊 雄   | 捧公認会計士事務所          | 代表    |
|     |         | 捧俊雄税理士事務所          | 代表    |
|     |         | (株)あさひ会計社          | 代表取締役 |
| 監査役 | 逸 見 和 宏 | 逸見和宏公認会計士事務所       | 代表    |
|     |         | 税理士法人逸見会計          | 代表社員  |
|     |         | 新潟信用金庫             | 員外監事  |

(注) 1. 当社とあおば社労士事務所、(株)あおば中央人事労務、合同会社あおばインベストメント及び一般社団法人新潟障害年金相談センターとの間に特別な関係はありません。

2. 当社は平哲也氏と顧問契約を締結しておりますが、その顧問料が双方の売上高に占める割合は些少であり、当社と平哲也法律事務所との間には特別な利害関係はありません。
3. 当社と捧公認会計士事務所、捧俊雄税理士事務所及び㈸あさひ会計社との間に特別な関係はありません。
4. 当社と逸見和宏公認会計士事務所、税理士法人逸見会計及び新潟信用金庫との間に特別な関係はありません。

② 当社または当社の特定関係事業者の業務執行者または役員との親族関係該当事項はありません。

③ 当事業年度における主な活動状況

| 地 位 | 氏 名     | 主な活動状況                                                                                                                                                                                    |
|-----|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 取締役 | 齋 藤 吉 弘 | 当事業年度に開催された取締役会13回のうち10回に出席いたしました。取締役会においては、主に社会保険労務士としての専門的見地と実践的な視点から、社外取締役として当社の業務執行に対する監督と適切な助言を行うことで、意思決定の妥当性・適正性を確保するための適切な役割を果たしております。また、客観的、中立的立場で当社の役員報酬等の決定過程における監督機能を主導しております。 |
| 取締役 | 平 哲 也   | 当事業年度に開催された取締役会13回のうち13回に出席いたしました。取締役会においては、主に弁護士としての専門的見地と実践的な視点から、社外取締役として当社の業務執行に対する監督と適切な助言を行うことで、意思決定の妥当性、適正性を確保するための適切な役割を果たしております。また、客観的・中立的立場で当社の役員報酬等の決定過程における監督機能を主導しております。     |
| 監査役 | 捧 俊 雄   | 当事業年度に開催された取締役会13回のうち13回に出席し、監査役会14回のうち13回に出席いたしました。取締役会においては、主に公認会計士としての専門的見地と客観的立場から、当社の経営上有用な指摘、意見を述べ、当社の経営に対する適切な監査を行う役割を果たしています。監査役会においては、自らの職務の執行について随時報告を行っております。                  |
| 監査役 | 逸 見 和 宏 | 当事業年度に開催された取締役会13回のうち12回に出席し、監査役会14回のうち14回に出席いたしました。取締役会においては、主に公認会計士としての専門的見地と客観的立場から、当社の経営上有用な指摘、意見を述べ、当社の経営に対する適切な監査を行う役割を果たしています。監査役会においては、自らの職務の執行について随時報告を行っております。                  |

(注) 上表の取締役会の開催回数のほか、会社法第370条及び定款に基づき、取締役会決議があったものとみなす書面決議が2回ありました。

# 連結貸借対照表

(令和7年3月31日現在)

(単位：千円)

| 資 産 の 部                |                   | 負 債 の 部                      |                   |
|------------------------|-------------------|------------------------------|-------------------|
| 科 目                    | 金 額               | 科 目                          | 金 額               |
| <b>流 動 資 産</b>         | <b>11,172,079</b> | <b>流 動 負 債</b>               | <b>9,072,808</b>  |
| 現 金 及 び 預 金            | 4,780,051         | 買 掛 金                        | 5,295,938         |
| 売 掛 金                  | 3,473,925         | 短 期 借 入 金                    | 709,057           |
| 商 品                    | 2,236,171         | リ ー ス 債 務                    | 282,952           |
| 原 材 料                  | 164,776           | 未 払 金                        | 925,216           |
| 貯 蔵 品                  | 35,829            | 未 払 費 用                      | 801,958           |
| そ の 他                  | 483,604           | 未 払 法 人 税 等                  | 267,067           |
| 貸 倒 引 当 金              | △2,278            | 未 払 消 費 税 等                  | 141,184           |
| <b>固 定 資 産</b>         | <b>12,910,188</b> | 賞 与 引 当 金                    | 272,254           |
| <b>有 形 固 定 資 産</b>     | <b>9,869,800</b>  | 資 産 除 去 債 務                  | 9,907             |
| 建 物 及 び 構 築 物          | 5,546,533         | そ の 他                        | 367,271           |
| 機 械 装 置 及 び 運 搬 具      | 244,017           | <b>固 定 負 債</b>               | <b>3,804,808</b>  |
| 工 具 、 器 具 及 び 備 品      | 348,776           | 長 期 借 入 金                    | 1,834,500         |
| 土 地                    | 3,004,304         | リ ー ス 債 務                    | 514,048           |
| リ ー ス 資 産              | 723,184           | 役 員 退 職 慰 労 引 当 金            | 190,100           |
| 建 設 仮 勘 定              | 2,984             | 資 産 除 去 債 務                  | 953,655           |
| <b>無 形 固 定 資 産</b>     | <b>230,331</b>    | 長 期 預 り 保 証 金                | 307,069           |
| の れ ん                  | 2,751             | そ の 他                        | 5,434             |
| 借 地 権                  | 135,120           | <b>負 債 合 計</b>               | <b>12,877,617</b> |
| そ の 他                  | 92,458            | <b>純 資 産 の 部</b>             |                   |
| <b>投 資 そ の 他 の 資 産</b> | <b>2,810,056</b>  | <b>株 主 資 本</b>               | <b>10,762,813</b> |
| 投 資 有 価 証 券            | 579,274           | 資 本 金                        | 801,710           |
| 退 職 給 付 に 係 る 資 産      | 121,377           | 資 本 剰 余 金                    | 366,781           |
| 繰 延 税 金 資 産            | 557,321           | 利 益 剰 余 金                    | 10,764,138        |
| 敷 金                    | 686,375           | 自 己 株 式                      | △1,169,816        |
| 差 入 保 証 金              | 835,501           | <b>そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額</b> | <b>441,838</b>    |
| そ の 他                  | 31,304            | そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金      | 382,099           |
| 貸 倒 引 当 金              | △1,096            | 退 職 給 付 に 係 る 調 整 累 計 額      | 59,739            |
| <b>資 産 合 計</b>         | <b>24,082,268</b> | <b>純 資 産 合 計</b>             | <b>11,204,651</b> |
|                        |                   | <b>負 債 純 資 産 合 計</b>         | <b>24,082,268</b> |

# 連結損益計算書

(令和 6 年 4 月 1 日から  
令和 7 年 3 月 31 日まで)

(単位：千円)

| 科 目                   | 金       | 額          |
|-----------------------|---------|------------|
| 売 上 高                 |         | 91,061,864 |
| 売 上 原 価               |         | 70,928,245 |
| 売 上 総 利 益             |         | 20,133,619 |
| 販売費及び一般管理費            |         | 18,381,509 |
| 営 業 利 益               |         | 1,752,109  |
| 営 業 外 収 益             |         |            |
| 受 取 利 息               | 1,752   |            |
| 受 取 配 当 金             | 4,528   |            |
| 受 取 家 賃               | 46,091  |            |
| 受 取 機 器 使 用 料         | 23,163  |            |
| そ の 他                 | 62,655  | 138,191    |
| 営 業 外 費 用             |         |            |
| 支 払 利 息               | 21,771  |            |
| 障 害 者 雇 用 納 付 金       | 7,475   |            |
| 雑 損 失                 | 13,356  | 42,603     |
| 経 常 利 益               |         | 1,847,697  |
| 特 別 利 益               |         |            |
| 受 取 保 険 金             | 6,585   | 6,585      |
| 特 別 損 失               |         |            |
| 固 定 資 産 除 却 損         | 10,588  |            |
| 減 損 損 失               | 288,841 |            |
| そ の 他                 | 21,230  | 320,660    |
| 税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益 |         | 1,533,622  |
| 法人税、住民税及び事業税          | 540,412 |            |
| 法 人 税 等 調 整 額         | △56,528 | 483,883    |
| 当 期 純 利 益             |         | 1,049,738  |
| 非支配株主に帰属する当期純利益       |         | —          |
| 親会社株主に帰属する当期純利益       |         | 1,049,738  |

## 連結株主資本等変動計算書

(令和 6 年 4 月 1 日から  
令和 7 年 3 月 31 日まで)

(単位：千円)

|                         | 株 主 資 本 |         |            |            |            |
|-------------------------|---------|---------|------------|------------|------------|
|                         | 資本金     | 資本剰余金   | 利益剰余金      | 自己株式       | 株主資本合計     |
| 当 期 首 残 高               | 801,710 | 366,781 | 9,893,259  | △1,169,816 | 9,891,933  |
| 当 期 変 動 額               |         |         |            |            |            |
| 剰 余 金 の 配 当             | －       | －       | △178,859   | －          | △178,859   |
| 親会社株主に帰属する<br>当 期 純 利 益 | －       | －       | 1,049,738  | －          | 1,049,738  |
| 株主資本以外の項目の<br>当期変動額（純額） | －       | －       | －          | －          | －          |
| 当 期 変 動 額 合 計           | －       | －       | 870,879    | －          | 870,879    |
| 当 期 末 残 高               | 801,710 | 366,781 | 10,764,138 | △1,169,816 | 10,762,813 |

|                         | その他の包括利益累計額      |                  |                   | 純資産合計      |
|-------------------------|------------------|------------------|-------------------|------------|
|                         | その他有価証券<br>評価差額金 | 退職給付に係る<br>調整累計額 | その他の包括利益<br>累計額合計 |            |
| 当 期 首 残 高               | 410,810          | 53,963           | 464,774           | 10,356,708 |
| 当 期 変 動 額               |                  |                  |                   |            |
| 剰 余 金 の 配 当             | －                | －                | －                 | △178,859   |
| 親会社株主に帰属する<br>当 期 純 利 益 | －                | －                | －                 | 1,049,738  |
| 株主資本以外の項目の<br>当期変動額（純額） | △28,711          | 5,775            | △22,935           | △22,935    |
| 当 期 変 動 額 合 計           | △28,711          | 5,775            | △22,935           | 847,943    |
| 当 期 末 残 高               | 382,099          | 59,739           | 441,838           | 11,204,651 |

# 株主総会参考書類

## 第1号議案 取締役9名選任の件

取締役全員（9名）は、本総会終結の時をもって任期満了となります。

つきましては、取締役9名の選任をお願いするものであります。

取締役候補者は、次のとおりであります。

| 候補者<br>番 号 | 氏 名<br>(生年月日)          | 略歴、当社における地位、担当<br>(重要な兼職の状況)                                                                                                                                                                                                                                  | 所有する<br>当社株式の数 |
|------------|------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 1          | 樋口 勝人<br>(昭和50年4月22日生) | 平成9年5月 日本料理 しまや入社<br>平成11年5月 当社入社<br>平成14年1月 当社ランチサービス事業部<br>ぐるめし本舗新潟店長<br>平成20年10月 当社ランチサービス事業部<br>新潟店長<br>平成22年6月 当社取締役兼社長室長<br>平成23年4月 当社取締役<br>平成24年4月 当社取締役兼営業本部副本<br>部長<br>平成25年4月 当社代表取締役副社長<br>平成27年6月 当社代表取締役社長（現任）<br>(重要な兼職の状況)<br>(株)カワサキ 代表取締役社長 | 40,000株        |
| 2          | 樋口 勤<br>(昭和25年6月25日生)  | 昭和44年4月 ひぐち食品入社<br>昭和52年11月 (株)ひぐち食品設立と共に取<br>締役就任<br>昭和53年11月 当社設立と共に専務取締役<br>就任<br>平成10年4月 当社代表取締役副社長<br>平成21年6月 当社代表取締役社長<br>平成27年6月 当社代表取締役会長<br>平成29年6月 当社取締役会長（現任）<br>(重要な兼職の状況)<br>(株)サンキューオールジャパン 代表取締役社長                                             | 723,000株       |

| 候補者<br>番 号 | 氏 名<br>(生年月日)                              | 略歴、当社における地位、担当<br>(重要な兼職の状況)                                                                                                                                                                                                                                     | 所有する<br>当社株式の数 |
|------------|--------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 3          | すぎ た ひと し<br>杉 田 仁 史<br>(昭和36年10月2日生)      | 平成12年 7 月 (株)サンキューオールジャパン入社<br>平成21年 6 月 当社取締役<br>平成25年 4 月 当社取締役兼執行役員営業本部部門担当部長<br>平成26年 4 月 当社取締役兼執行役員 F C 開発部門担当部長<br>当社取締役兼執行役員 F C 開発事業部長<br>平成28年 4 月 当社取締役<br>令和 6 年 6 月 当社取締役兼執行役員営業企画室長<br>令和 7 年 4 月 当社取締役 (現任)<br>(重要な兼職の状況)<br>(株)サンキューオールジャパン 専務取締役 | 2,600株         |
| 4          | は せ がわ よし ひろ<br>長 谷 川 吉 浩<br>(昭和39年3月27日生) | 昭和58年 5 月 (株)ファミリーデパート江口屋 (現イオンリテール(株)) 入社<br>平成13年 5 月 当社入社<br>平成22年 4 月 当社チャレンジャー事業部次長<br>平成28年 4 月 当社執行役員チャレンジャー事業部長<br>令和 2 年 6 月 当社取締役兼執行役員チャレンジャー事業部長<br>令和 4 年 4 月 当社取締役兼執行役員 O D X 推進本部長 (現任)                                                            | 4,900株         |
| 5          | ほん ま たけ し<br>本 間 武 士<br>(昭和46年5月11日生)      | 平成 4 年 1 月 (株)シブヤ会計入社<br>平成13年 9 月 当社入社<br>平成25年 4 月 当社管理本部副本部長<br>平成26年 4 月 当社管理部長<br>平成30年 6 月 当社執行役員管理部長<br>令和 6 年 6 月 当社取締役兼執行役員管理本部長 (現任)<br>(重要な兼職の状況)<br>(株)カワサキ 取締役                                                                                      | 一株             |

| 候補者<br>番 号 | 氏 名<br>(生年月日)                                  | 略歴、当社における地位、担当<br>(重要な兼職の状況)                                                                                                                                                                                       | 所有する<br>当社株式の数 |
|------------|------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|
| 6          | なが い まる<br>長 井 守<br>(昭和42年4月28日生)              | 平成2年4月 (株)ソーゴ入社<br>平成9年12月 当社入社<br>平成21年4月 当社ランチサービス事業部<br>次長<br>平成23年4月 当社ランチサービス事業部<br>長<br>平成25年4月 当社執行役員ランチサービ<br>ス事業部長<br>令和6年6月 当社取締役(現任)                                                                    | 3,500株         |
| 7          | こ いけ まさ き<br>小 池 聖 樹<br>(昭和50年3月15日生)<br>(新 任) | 平成12年5月 (株)エムパイヤ・エアポー<br>ト・サービス入社<br>平成15年8月 (株)カワサキ入社<br>令和4年4月 当社執行役員業務スーパー<br>事業部長(現任)<br>(重要な兼職の状況)<br>(株)カワサキ 専務取締役                                                                                           | 1,500株         |
| 8          | さい どう よし ひろ<br>齋 藤 吉 弘<br>(昭和42年7月22日生)        | 平成3年4月 (株)日立製作所入社<br>平成14年9月 三条市労務管理協会入所<br>平成16年9月 社会保険労務士登録<br>平成18年11月 特定社会保険労務士登録<br>平成26年6月 当社社外取締役(現任)<br>(重要な兼職の状況)<br>あおば社労士事務所 所長<br>(株)あおば中央人事労務 代表取締役<br>合同会社あおばインベストメント 代表社員<br>一般社団法人新潟障害年金相談センター代表理事 | 一株             |
| 9          | たいら てつ や<br>平 哲 也<br>(昭和42年8月14日生)             | 平成7年4月 弁護士登録<br>令和4年6月 当社社外取締役(現任)<br>(重要な兼職の状況)<br>平哲也法律事務所 所長                                                                                                                                                    | 2,000株         |

- (注) 1. 平哲也氏と当社は顧問契約を締結しておりますが、その顧問料が双方の売上高に占める割合は些少であり、平哲也氏と当社との間には特別の利害関係はありません。また、その他の各取締役候補者と当社との間にも特別の利害関係はありません。
2. 「所有する当社株式の数」については、令和7年3月31日現在の所有株式数を記載しております。
3. 齋藤吉弘氏及び平哲也氏は社外取締役候補者であります。

4. 各取締役候補者の選任の理由は次のとおりであります。

- (1) 樋口勝人氏  
当社代表取締役として当社の経営を担っており、将来に向けた成長基盤強化を推進しています。これまでの経験と実績から今後も当社のさらなる発展をけん引することが期待できると判断し、引き続き取締役として選任をお願いするものであります。
- (2) 樋口勤氏  
当社グループ全体にわたる事業経営に関する知見を有しており、今後も当社グループをけん引することが期待できると判断し、引き続き取締役として選任をお願いするものであります。
- (3) 杉田仁史氏  
開発部門を中心に事業全般を熟知するとともに豊富な業務経験を有し、これまでの経験と実績から、今後も当社の発展をけん引できると判断し、引き続き取締役として選任をお願いするものであります。
- (4) 長谷川吉浩氏  
営業部門を中心に事業全般を熟知するとともに豊富な業務経験を有し、これまでの経験と実績から、今後も当社の発展をけん引できると判断し、引き続き取締役として選任をお願いするものであります。
- (5) 本間武士氏  
管理部門を中心に事業全般を熟知するとともに豊富な業務経験を有し、これまでの経験と実績から、今後も当社の発展をけん引できると判断し、引き続き取締役として選任をお願いするものであります。
- (6) 長井守氏  
営業部門を中心に事業全般を熟知するとともに豊富な業務経験を有し、これまでの経験と実績から、今後も当社の発展をけん引できると判断し、引き続き取締役として選任をお願いするものであります。
- (7) 小池聖樹氏  
営業部門を中心に事業全般を熟知するとともに豊富な業務経験を有し、これまでの経験と実績から、今後も当社の発展をけん引できると判断し、新たに取締役として選任をお願いするものであります。
- (8) 齋藤吉弘氏  
社会保険労務士として専門的な知識・経験等を有しており、実践的な視点から、社外取締役として適切な助言と業務執行に対する監督を行えるものと判断し、引き続き社外取締役として選任をお願いするものであります。
- (9) 平哲也氏  
社外役員になること以外の方法で会社経営に関与した経験はありませんが、弁護士として専門的な知識・経験等を有しており、実践的な視点から、弁護士として適切な助言と業務執行に対する監督を行えるものと判断し、引き続き社外取締役として選任をお願いするものであります。

5. 社外取締役候補者に関する特記事項

(1) 社外取締役の就任してからの年数

齋藤吉弘氏の当社での社外取締役としての在任期間は、本総会終結の時をもって11年となり、平哲也氏の当社での社外取締役としての在任期間は、本総会終結の時をもって3年となります。

(2) 社外取締役としての責任限定契約について

齋藤吉弘氏及び平哲也氏と当社との間で、会社法第427条第1項の規定により、損害賠償責任を法令に定める最低責任限度額に限定する契約を其々締結しており、各氏の再任が承認された場合は、当該契約を継続する予定であります。

6. 当社は齋藤吉弘氏及び平哲也氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として届け出ております。各氏が再任された場合は、当社は引き続き各氏を独立役員とする予定であります。

7. 当社は保険会社との間で会社法第430条の3第1項の役員等賠償責任保険契約を締結しており、当社取締役を含む被保険者がその職務の執行に起因して損害賠償請求がなされたことにより、被保険者が被る損害賠償金や争訟費用等を補填することとしております。ただし、犯罪行為や法令違反の行為であることを認識して行った行為に起因する場合を補填対象外とすることにより、役員等の職務の執行の適法性が損なわれないように措置を講じております。各候補者が取締役を選任され就任した場合は、当該保険契約の被保険者となります。また、当該保険契約は任期途中に同様の内容で更新することを予定しております。

## 第2号議案 退任取締役に対する退職慰労金贈呈の件

本総会終結の時をもって取締役を退任されます小野純平氏に対し、在任中の労に報いるため、当社の定める一定の基準に従い相当額の範囲内で退職慰労金を贈呈いたしたいと存じます。

なお、その具体的な金額、贈呈の時期、方法等は取締役会にご一任願いたいと存じます。

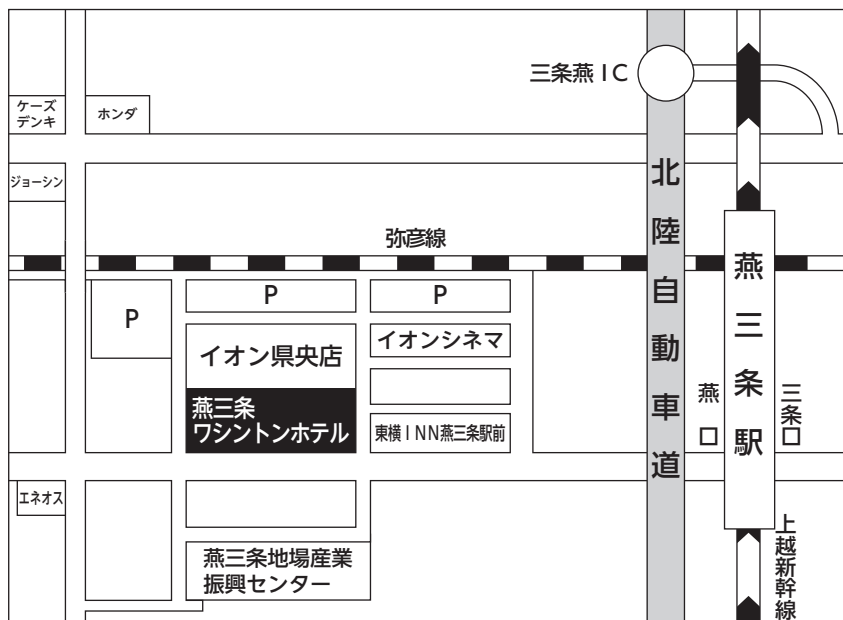
本議案は、当社において予め定められた取締役の個人別の報酬等の内容にかかる決定方針及び社内規程に沿って取締役会で決定しており、相当であると判断しております。

退任取締役の略歴は次のとおりであります。

| 氏 名                   | 略 歴                                       |
|-----------------------|-------------------------------------------|
| お の じゅん べい<br>小 野 純 平 | 平成22年 6 月 当社取締役<br>令和 2 年 6 月 当社常務取締役（現任） |

以 上

# 株主総会会場ご案内図



会場 新潟県燕市井土巻三丁目65番地  
 燕三条ワシントンホテル（3階ホール）  
 電話 (0256) 66-1111  
 交通 北陸自動車道 三條燕インターより車で3分  
 上越新幹線 燕三条駅より徒歩で5分